

磐田市平和祈念式「平和への想い」

世界で唯一の被爆国日本。今から 79 年前の 1945 年 8 月 6 日、午前 8 時 15 分に広島に原爆が投下されました。上空で爆発し、一瞬にして平穏な日々は奪われました。緑鮮やかでにぎやかだった町が、たった一発の原爆によって灰色の世界へと変わってしまったのです。

今回広島派遣に参加させていただくにあたり、事前に家族と戦争のことについて話し合ったり、教科書やテレビなどで調べたりしました。頭では理解していても、どこか遠くの国の話をしているようで、とても現実に関わったことだとは思えませんでした。身体に降り注ぐ放射線、すさまじい勢いで吹く四千度にもなる熱風、血だらけの人々、川の水が見えないほどに人が入った川。今では想像することすら難しいような光景です。

しかし、今もなお世界では戦争が起こっています。なぜ戦争は繰り返されるのでしょうか。戦争をなくすこと、核兵器を持たないことは本当に難しい問題かもしれませんが、過去の過ちを世界の人々が認識し、色々な視点から反省、分析をすること。そしてみんなが平和を願い、同じ方向を向いて、これからも考え続けていくことが大切だと思います。この記憶を後世に訴え続けていく、それが被爆国の使命ではないでしょうか。

私には、小学生と中学生の従姉妹がいます。まだ難しいとは思いますが、今回のこの経験を伝えていこうと思います。それも私にできる第一歩です。相手の話をよく聞き、相手を尊重し、思いやり助け合う。そんな世の中になっていくよう、小さなことですが自分にできる責務を果たしていきます。

令和 6 年 8 月 15 日

代 表 菅原 杏月（磐田市立向陽中学校）